



テアトル9ニュース

お芝居大好き！九条の会
2016年11月6日 第73号

マスコミに思う



今日の朝日新聞（10月30日）「日曜日に思う」で曾我豪編集委員は安部首相が憲法改正に取り組むなら「緊急事態条項」で改憲を発議すべきだと、驚きました。自民党憲法草案の「緊急事態条項」は、武力攻撃、内乱、大規模な自然災害などが、発生した時、内閣は「緊急事態」を宣言することにより、内閣総理大臣に権力を集中し、憲法の一部停止を定めるとしています。ナチス・ドイツが当時、最も民主的であったワイマール憲法下で独裁体制に移行した時に用いた手法です。自民党が2/3勢力を確保し、憲法改正の国民投票を行った場合、英国のEU離脱問題のように僅差で終われば、国論は2分されたとの批判や危機感が強く残り、改憲アレルギーが醸成される

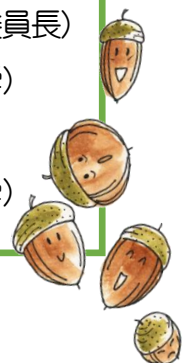
とも述べています。曾我さんは安部首相を囲むマスコミ夕食会のメンバーですから、首相のことがとても心配なのでしょう。一方、同じ紙面で「憲法を考える一多数決って何？」、坂井豊貴慶応大学教授は「民主主義で重要なのは全員一致に向かおうとする努力と情報公開、そして熟慮だ」と、単純な多数決は『どうしてもよいことに』を決めるのに使うのがよいと・・・「多数決ってなんだ」、政治家やジャーナリストは誰のためにあるのか、私たち読者は何を求めているのか、イプセンの「民衆の敵」ストックマン博士は叫ぶ『多数が正しいことは決してない。決して！』（ハーモニー 広沢正雄）



「九条の会」 新たに12人の世話人会を設置

9月25日、「九条の会」は3年ぶりに「第6回全国交流討論集会」を開催しました。事務局長の小森陽一氏は、昨年9月に強行採決された「安保関連法制」後の第3次安倍政権と向き合っていくため、「九条の会」としての役割、重要性を提起。そして、九条の会の運動をより強化、発展させていくために、12人の世話人会議を設置することを報告。各界から世話人に名前を連ねた方々を紹介します。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 愛敬 浩二(名古屋大教授、憲法学)、 | 浅倉むつ子(早稲田大教授、労働法) |
| 池内 了(名古屋大名誉教授、宇宙物理学)、 | 池田香代子(ドイツ文学翻訳家) |
| 伊藤 千尋(元朝日新聞記者) | 伊藤 真(日弁連憲法問題委員会副委員長) |
| 内橋 克人(経済評論家) | 清水 雅彦(日本体育大教授、憲法学) |
| 高遠菜穂子(ボランティア活動家) | 高良 鉄美(琉球大教授、憲法学) |
| 田中 優子(法政大総長、江戸文化研究家) | 山内 敏弘(一橋大名誉教授、憲法学) |



今、再び忍び寄る戦争への不安



勤めた職場にサークルが無かったら、たぶん私は芝居を観ることなく過ごしていると思います。縁あって神戸労演(当時)に入会し、30年以上。今まで何本の芝居を観てきたことになるのでしょうか。

幕が上がると、芝居が描き出す国や時代へと誘われます。最初は役名でしか認識できない人物が、役者の肉体を通して一人の人間として、そこにしっかりと存在し、私たちに訴えかけてくる姿は、生の舞台の醍醐味であり魅力だと思います。

新劇は時代や社会の中で、人間がどんな風に生きてきたかを描き出すもの。観終わって重たいな～と疲れて帰る時もあります。知らなかった(知らされなかった)史実や、登場人物を取り巻く理不尽で過酷な現実。それらに圧倒され、何とも受け止めきれない気持ちが「重い」という言葉になるのかもしれない。そして理不尽といえば、その最たる

ものが戦争だと思うのです。ささやかに生きている庶民が、いつのまにか巻き込まれ犠牲になる。

7月例会『百枚目の写真』は出征兵士家族の写真から、その後の家族を取材した「一銭五厘たちの横丁」(児玉隆也著)を下敷きに創られた芝居でした。映し出される家族それぞれに日々の暮らしがあり、楽しみがあり、夢があり…それらが断ち切られていくことの残酷さ、一緒に写るべき人がいない写真から漂う淋しさ、家族が向ける切ないまでの眼差し。写真は言葉よりも雄弁に物語っているようでした。今、再び忍び寄る戦争への不安があります。この先、二度と戦争があってはならないし、社会の実相を描き出す芝居を「創ることができる」「観ることができる」世の中であってほしいと思います。

(木もれ陽サークル 佐藤美智子)



本の紹介

『日本は、なぜ「戦争ができる国」になったのか』

著者：矢部宏治

日本の民間機は、首都圏上空にある米軍管理空域—ヒマラヤ山脈のような高度飛行禁止区域—を急旋回・急上昇して避けて、飛んでいる。冒頭に置かれたこの事実は、本書を象徴している。日米の戦後史には様々「密約」が存在する。沖縄返還関連の密約については周知のものとなった。吉田茂と指揮権「密約」、岸信介と基地権「密約」をアメリカ側の機密文書研究の先行する業績に拠りながら著者の持論を展開している。「見かけ」と「実質」のちがいが、無数の密約を生みだした、という指摘に頷く。騙した奴が悪いのか、騙された奴が悪いのか。一読を乞う。(R・U) 集英社インターナショナル 1,296円

お知らせ



元サンテレビスポーツキャスター

西澤 暲(あきら)さんの

お話を聞く会

平和を求めて—神戸大空襲の体験から

視えてくるもの—

12月10日(土)PM1時30分～4時

新長田勤労市民センター3階 第一講習室

参加費 500円

主催 神戸に平和祈念館をつくる会

例会場「テアトル9コーナー」に
お立ち寄りください!

テアトル9グッズ、また賛同者の方には
ニュースをご用意しています。

カンパも大歓迎!

お芝居大好き!九条の会～テアトル9 って何??

2004年、井上ひさし、大江健三郎等9名の著名人が日本国憲法九条を守る「九条の会」を結成。その呼びかけに応え、演劇鑑賞会の会員有志で2005年「お芝居大好き!九条の会～テアトル9」を作りました。

月1回世話人会を持ち、ニュースを発行しています。興味のある方は、一緒にしませんか?下記世話人までご連絡を

児玉 090-8209-2391 米田 090-8658-8579

谷中 090-2101-4579 田中 090-8493-3378